



事故のあとの保険から事故を起こさない保険へ

～タフ・つながるクルマの保険 1 万件、タフ・見守るクルマの保険(ドラレコ型) 5 万件突破～

2019年5月31日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、個人・法人のお客さまへ提供しているテレマティクス※1自動車保険の販売件数が好調であること、および、これらの商品による安全運転促進効果と交通事故の未然防止効果を確認しましたので、お知らせします。

1. 販売件数

2018年4月に発売したコネクティッドカーを対象とする「タフ・つながるクルマの保険」※2の販売件数が1万件を、2019年1月に発売した非コネクティッドカーを対象とする「タフ・見守るクルマの保険(ドラレコ型)」※3の販売件数が5万件(スマホ型との合算では約7万6千件)を突破しました。

また、2016年4月より事業者向けに提供を開始したテレマティクスサービスは累計で1万6千件を突破しています。



- ※1 「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載機と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組みです。
- ※2 トヨタ自動車株式会社が展開するコネクティッドカー(当方が定める走行データが取得できるナビを搭載かつインターネットへの接続機能を有する車両)を対象に、テレマティクス技術で取得した走行データに基づき、毎月の安全運転の度合いを保険料に反映する日本国内初となる自動車保険です。
- ※3 当社が貸与するドライブレコーダーをご利用いただくことによって、月額850円の特約保険料(保険期間1年の口座振替12回払の場合)で、お客さまへ安全運転のサポートと事故時のさらなる安心をお届けする自動車保険です。本商品はグループ会社である三井住友海上と共同で開発したものです。

2. 「タフ・つながるクルマの保険」の安全運転促進効果

「タフ・つながるクルマの保険」は、お客さまのスピード・アクセル・ブレーキの各挙動別安全運転度合いを5段階評価し、その結果を総合した100点満点の安全運転スコアを毎月お知らせしています。

本商品に加入したお客さまの約8割は、80点以上を獲得しています【表①】。また、80点未満であったお客さまにおいても、月を追うごとにスコアが上昇する傾向となっており、本商品による安全運転促進効果を確認しています【表②】。

3. 「タフ・つながるクルマの保険」の事故発生頻度

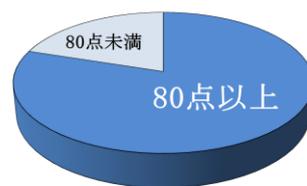
「タフ・つながるクルマの保険」にご加入のお客さまは、同車種で当社の「タフ・クルマの保険」にご加入のお客さまと比較して、事故頻度が25%程度抑えられており、交通事故の未然防止効果を確認しています【表③】。

また、コネクティッドカーや自動車に取付された車載器から得られるデータを活用し、事故対応の高度化を進めています。最先端・最優の事故対応をお客さまへ提供することで、万一の事故にあわれたお客さまを引き続き全力でサポートしていきます。

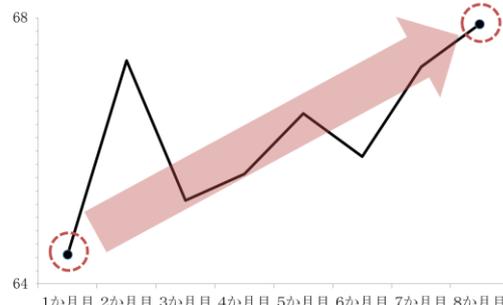
当社は業界に先駆け、リアルタイムに情報サービスを提供するテレマティクス技術（Connected）にいち早く注目し、テレマティクス自動車保険のパイオニアとして、最先端の商品開発に取り組んできました。

『事故のあとの保険から事故を起こさない保険へ』をコンセプトに、テレマティクス自動車保険の提供を通じて、「お客さまへ安全・安心なカーライフの提供」、「安全・安心なモビリティ社会の実現」および、お客さまの交通事故の低減に貢献していきます。

【表①】安全運転スコア分布



【表②】安全運転スコア 80点未満層のスコア推移



【表③】事故頻度の比較（2018年度末）



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

